# 四半世紀におよぶ市民交流の成果
## ～熊本市-エクサンプロヴァンス市（フランス）～

パリ事務所

### １．自治体間の姉妹（友好）都市提携について

姉妹（友好）都市提携は、よく結婚に例えられることがあります。これから２人で手を携えて様々な取り組みを進めていきましょうという約束だからです。

提携の形は色々あります。例えば、「日本は素晴らしい国だと聞いている。日本の自治体と連携していきたいので、どこか紹介していただけないか？」という紹介のようなものから、長年お付き合いを続けた結果、正式に連携しましょうといった、まさに恋愛結婚と思われるものまで様々です。

今回報告させていただく案件は、まさに後者の典型的な事例、市民間のお付き合いを長い間続けられ、ようやく行政間の締結を約束するところまで漕ぎつけたものとなります。

今回、2013 年度に交流都市協定に調印しましょうという意向書を取り交わした日本の自治体は、今年４月、新たに政令指定都市となった熊本市と、南フランスにあるエクサンプロヴァンス（Aix en Provence。以下「エクス市」という。）です。

### ２．熊本市とエクス市

エクス（aix）とは、ローマ人が使ったアクアエ（aquae：水）という言葉が転訛されたものと言われています。直訳すると「プロヴァンスの水」となるように、豊富な地下水源を有する町であり、ローマ時代の遺跡と共に美しい泉を旧市街のあちこちに見ることができる美しい町です。

まさに、人口 70 万人以上でありながら、水道水源をすべて地下水源だけでまかない、市内各所に湧き水が出ている熊本市とよく似ています。

市内に各所に湧き出る泉

また、エクス市は、「近代絵画の父」と称される画家ポール・セザンヌ（Paul Cézanne）が生まれ、愛し、そして土に還った町でもあり、現在もその生家やアトリエが残り、題材となったサント＝ヴィクトワール山（Sainte-Victoire）を市内から眺めることができます。

さらに、この町には日本国外では唯一と言われる総檜の「能舞台」があります。
この能舞台こそ、両市交流の源であり、長年に亘って両市市民が行ってきた交流の証でもあります。

セザンヌが愛した
サント=ヴィクトワール山

## ３．「Nô（能）」が結ぶ両市の交流

熊本市、エクス市の関係は、1984 年熊本日仏協会のエクス市訪問に始まりましたが、当初は、両市交流に大きな進展は見られませんでした。

しかし、その数年後、熊本市在住の喜多流能楽師狩野琇鵬（かの　しゅうほう）氏（フランス国内での使用名は狩野丹秀【かの　たんしゅう】氏）が、関係者から譲り受けた能舞台の移築先を探していたこと、日本の能について熱心に研究しているフランス人の学者が「能楽の内容は、高度な文学、芸術性があり、音楽にも不思議な魅力がある。医学的な要素も加わった最高の舞台芸術である。」と絶賛していたこと、さらに、熊本市在住で南仏出身のフランス人が「エクサンプロヴァンスの国際音楽祭で日本の能を見学できないものか。世界中の人々が能を見るきっかけになる。」と狩野氏に相談していたことなど、能をめぐる様々な動きがありました。そうした中で、日本を代表する伝統芸能の一つである能を世界の人々に紹介していきたいとの熱い思いを持たれていた狩野氏は、1992 年、能舞台をエクス市に対し、無償で移築・譲渡することを決定し、両市の実質的な民間交流が始まることとなったのです。狩野氏は、フランスのほか、アメリカ、ドイツ、ポーランド、フィンランド、スウェーデンなどで能の紹介に関わる活動を行っておられ、2009 年６月にはフランス共和国政府から芸術文化勲章「オフィシエ（将校）Officier de l'Ordre des Arts et des Lettres」を受章されました。

エクス市の能舞台

2012 年 5 月フランスでの
「ジャンヌ・ダルク」公演
「老婆」を演じる狩野丹秀氏

1994 年に狩野丹秀能舞台の柿落としが盛大に開催された後、狩野氏は、毎年のようにエクス市において演能会、能に関するワークショップ等を行い、日仏双方の橋渡しを行うとともに、両市は、2006 年のポール・セザンヌ没後 100 周年記念事業や 2008 年の熊本城本丸御殿落成などに合わせて交流活動を続けています。

更に、本年５月、パリ市アクリマタシオン公園における日本イベント「Le Jardin Japonais～春祭り～」をはじめ、オルレアン、エクス市において、本年生誕 600 年となるジャンヌ・ダルクを題材に作曲・演出した新作能「ジャンヌ・ダルク」を披露しました。

アクリマタシオン公園における公演においては、事前の予約が一杯となるなど、フランス人の「能」に対する関心の高さを改めて認識するとともに、狩野氏の思いがフランス人にも十分伝わっているということを実感しました。

新作能「ジャンヌ・ダルク」
演じたのは丹秀氏の長男
狩野了一氏

## ４．姉妹都市提携に向けて、交流推進の思いを新たに

意向書の取り交わしにあたり、エクス市マリーズ・ジョワサン＝マジニ（Maryse JOISSAINS MASINI）市長は、能舞台を中心とした 1992 年から四半世紀に渡る両市市民の交流の素晴らしさに触れ、両市の結婚を来年度に控え、 今後は文化・芸術、経済活動等において連携を深めていきたいと述べられました。一方、熊本市の幸山政史市長からは、これまで両市の絆を深めてきた狩野氏並びにエクサンプロヴァンス能舞台ディレクターを務める狩野氏令夫人の聖子さんの多大な功績に改めて感謝すると共に、今後はその絆をさらに深めていきたい旨の発言がありました。両市長のメッセージを受け、長年の交流に携わってきた関係者は、これまでの経緯を思い出し、目頭を熱くしておられたように見受けられました。

交流を続けてきた両市関係者

長い間様々な交流を続け、今回ようやく婚約に至った両市。来年度の提携締結に向けて、具体的に交流の内容を協議できる環境がようやく整いました。
来年度両市が結ばれることを楽しみに、今後も注目していきたいと考えています。

（林所長補佐　岐阜県高山市派遣）